

2 自然的状況

(1) 大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況

1) 気 象

① 降水量・気温・日照時間

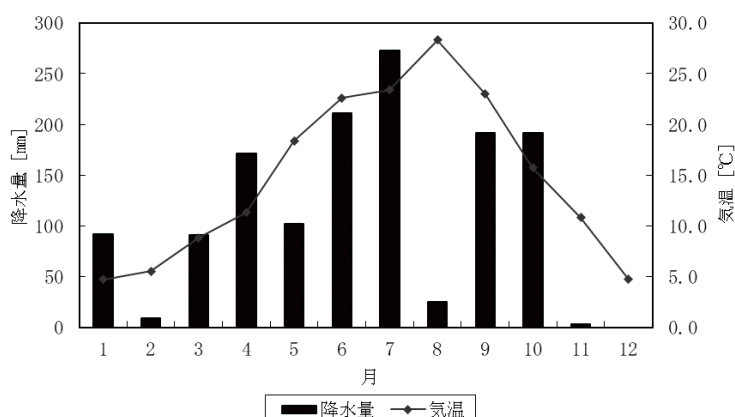
寄居地域気象観測所（大里郡寄居町大字折原：図 3.2-2 参照）における令和 2 年^{注)}の月別降水量、気温及び日照時間は、表 3.2-1 及び図 3.2-1 に示すとおりである。降水量を月別に見ると、7 月が最も多く 272.5mm、次いで 6 月 211.0mm となっている。日平均気温は、8 月の 28.3℃が最も高く、次いで 7 月の 23.4℃である。

また、寄居地域気象観測所における過去 10 年間の年別降水量、気温及び日照時間の推移は、表 3.2-2 に示すとおりである。過去 10 年間の年降水量は 1,082.5～1,649.0mm、年平均気温は 13.7～15.0℃である。

表 3.2-1 寄居地域気象観測所における月別降水量、気温及び日照時間（令和 2 年）

月	降水量(mm)				気温(℃)					日照時間 (h)
	合計	日最大	最大		平均			最高	最低	
			1 時間	10 分間	日平均	日最高	日最低			
1	92.0	49.0	7.5	1.5	4.7	10.7	-0.6	18.5	-4.5	184.0
2	8.5	5.5	3.5	1.5	5.5	11.8	-1.0	20.6	-7.3	207.4
3	91.0	38.5	6.5	2.0	8.8	15.0	2.8	26.6	-3.4	205.1
4	171.5	84.5	12.5	3.0	11.3	17.5	4.8	24.9	-0.5	229.5
5	102.0	60.0	10.5	5.5	18.4	24.6	12.7	32.4	5.5	182.9
6	211.0	71.0	22.5	9.5	22.6	27.7	18.4	34.6	15.9	146.4
7	272.5	31.5	30.0	12.0	23.4	26.9	20.9	33.1	17.1	45.3
8	25.0	11.5	26.0	11.5	28.3	35.0	23.4	39.2	20.2	260.7
9	192.0	38.5	35.5	12.5	23.0	27.5	19.9	35.7	11.5	97.7
10	191.5	57.0	6.0	1.5	15.7	20.7	11.9	27.7	4.6	113.9
11	3.0	2.0	1.0	0.5	10.8	17.4	4.7	22.4	-0.6	192.4
12	0	0	0	0	4.7	12.2	-1.9	17.4	-5.6	200.9

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）



資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

図 3.2-1 寄居地域気象観測所における月別降水量及び気温（令和 2 年）

注) 2019年については、1月から4月が平成31年、5月から12月が令和元年となるが、本書では2019年1月～12月を令和元年と示し、2019年4月～2020年3月を令和元年度と示した。

表 3.2-2 寄居地域気象観測所における年別降水量、気温及び日照時間の推移
(平成 23 年～令和 2 年)

年	降水量 (mm)		気温 (℃)			日照時間 (h)
	合 計	日最大	平 均	最 高	最 低	
平成 23 年	1595.0	150.5	14.0	39.2	-7.3	2168.4
平成 24 年	1218.5	141.5	13.7	37.1	-8.2	2182.8
平成 25 年	1105.0	96.5	14.3	38.9	-7.7	2275.6
平成 26 年	1398.5	173.5	13.9	38.0	-8.2	2272.5
平成 27 年	1226.0	142.5	14.6	38.3	-6.1	2074.0
平成 28 年	1192.5	163.5	14.6	37.3	-7.4	1999.2
平成 29 年	1238.0	118.5	13.9	36.5	-7.1	2208.2
平成 30 年	1082.5	101.5	15.0	39.9	-8.5	2283.4
令和元年	1649.0	471.0	14.7	37.8	-6.3	2097.7
令和 2 年	1360.0	84.5	14.8	39.2	-7.3	2066.2

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)

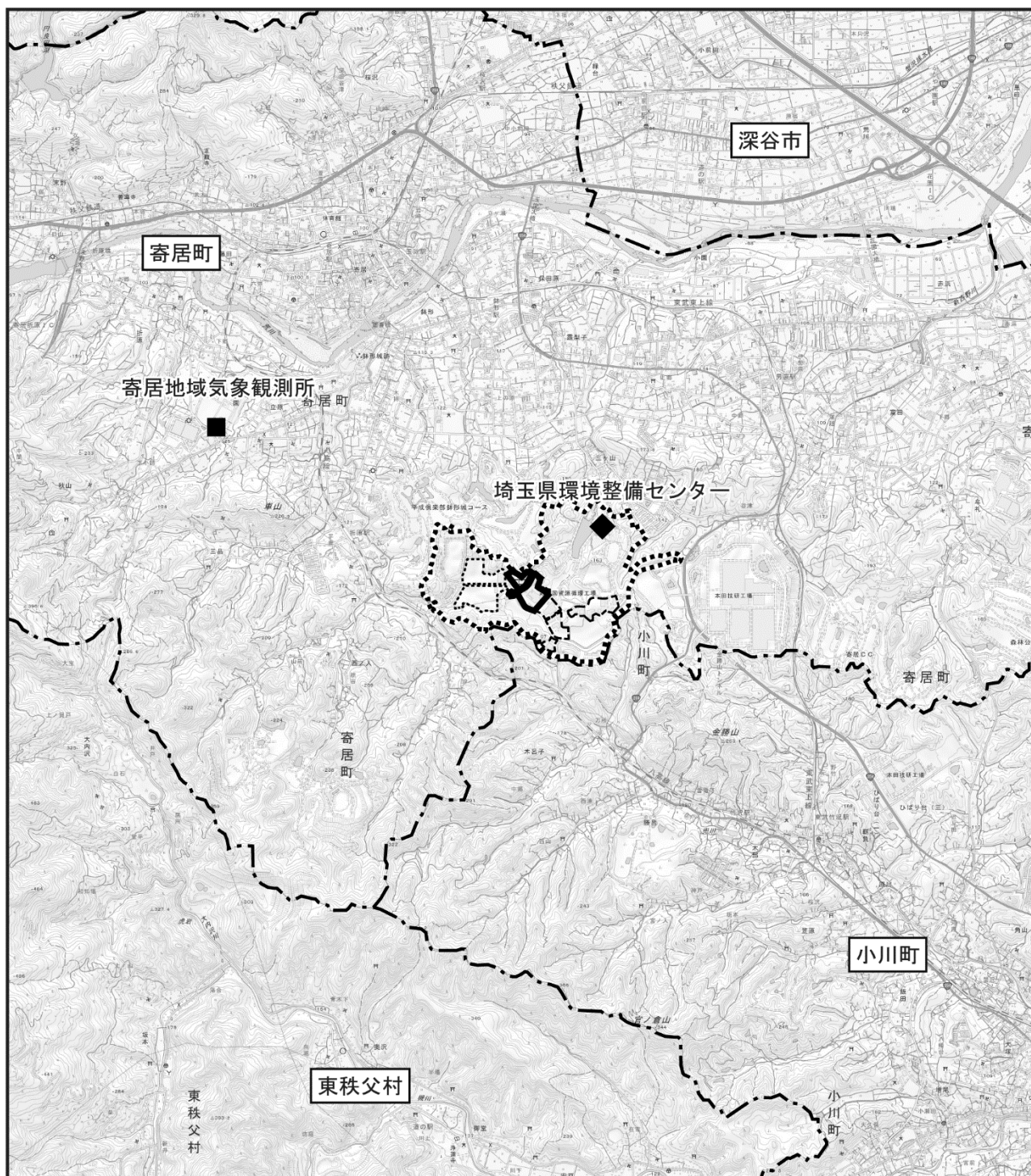
② 風向・風速

寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センター内の気象観測地点の位置は、図3.2-2に示すとおりである。

寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センター内の気象観測地点における令和 2 年の月別風向・風速は表 3.2-3 及び表 3.2-4 に、年間風配図は図 3.2-3 及び図 3.2-4 に、月別風配図は図 3.2-5 及び図 3.2-6 に示すとおりである。

寄居地域気象観測所における令和 2 年の最多風向は西北西、平均風速は 1.5m/s で、埼玉県環境整備センター内の気象観測地点における令和 2 年の最多風向は北、平均風速は 1.0m/s である。

また、寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センターにおける過去 10 年間の年間風向・風速の推移は、表 3.2-5 及び表 3.2-6 に示すとおりである。寄居地域気象観測所における過去 10 年間の最多風向は、各年とも西北西、平均風速は 1.5～1.8m/s、最大風速は 11.2～15.9m/s である。また、埼玉県環境整備センターにおける過去 10 年間の最多風向は北又は北北西、平均風速は 1.0～1.1m/s、最大風速は 18.9～24.9m/s である。



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

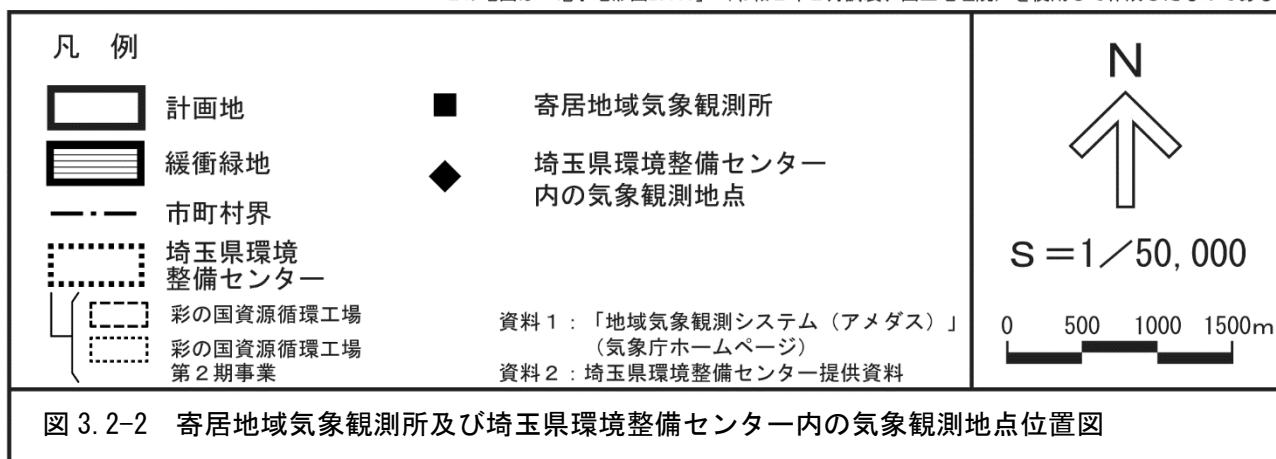


図 3.2-2 寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センター内の気象観測地点位置図

表 3.2-3 寄居地域気象観測所における月別風向・風速（令和 2 年）

月	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
1	西北西	1.8	10.9	西
2	西北西	1.9	8.3	北西
3	西北西	2.1	11.1	西
4	北西	2.1	9.3	北西
5	南東	1.4	6.8	北西
6	南東	1.2	5.2	東南東
7	南東	0.9	7.0	北西
8	南東	1.2	6.4	北西
9	南東	1.1	9.2	西南西
10	西北西	1.2	6.5	北西
11	西北西	1.6	8.8	北西
12	西	1.8	11.8	北西
年間	西北西	1.5	11.8	北西

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

表 3.2-4 埼玉県環境整備センターにおける月別風向・風速（令和 2 年）

月	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
1	北	1.2	16.4	西
2	北	1.3	17.3	北北東
3	北	1.4	24.4	北北東
4	北	1.3	15.7	北北東
5	南東	0.9	14.6	北
6	南東	0.7	9.4	東南東
7	東南東	0.6	11.9	北
8	東南東	0.7	8.1	南西
9	南東	0.7	9.9	南西
10	西、西北西	0.8	14.6	北
11	北	1.0	14.7	北
12	北	1.0	18.0	北
年間	北	1.0	24.4	北北東

資料：埼玉県環境整備センター提供資料

表 3.2-5 寄居地域気象観測所における年別風向・風速の推移

（平成 23 年～令和 2 年）

年	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
平成 23 年	西北西	1.7	11.2	西北西
平成 24 年	西北西	1.8	13.4	西
平成 25 年	西北西	1.8	15.9	北西
平成 26 年	西北西	1.8	11.2	北西
平成 27 年	西北西	1.6	11.5	北西
平成 28 年	西北西	1.6	11.8	北西
平成 29 年	西北西	1.7	11.5	西北西
平成 30 年	西北西	1.6	11.5	南東
令和元年	西北西	1.7	12.7	北西
令和 2 年	西北西	1.5	11.8	北西

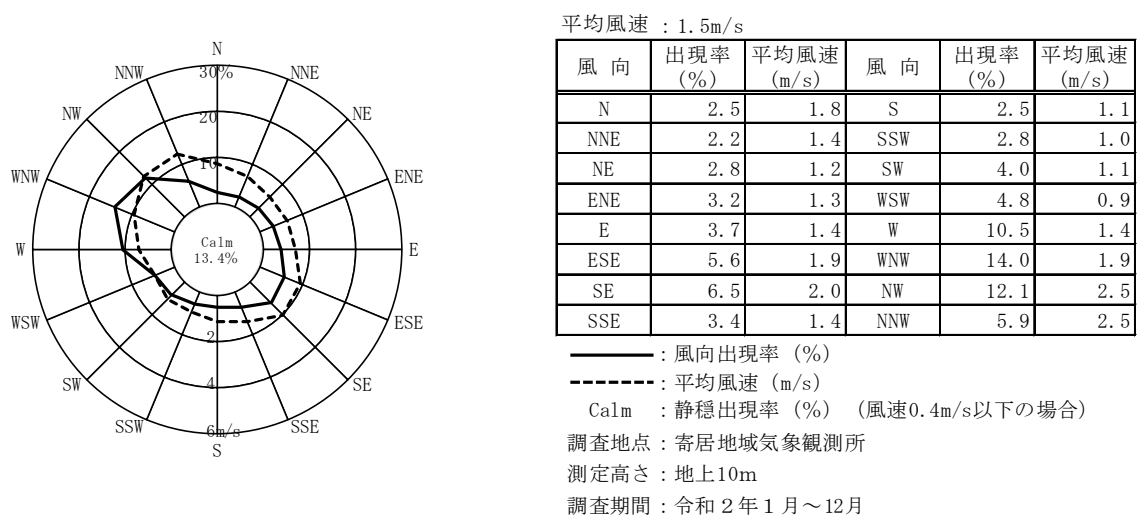
資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

表 3.2-6 埼玉県環境整備センターにおける年別風向・風速の推移（平成 22 年～令和 2 年）

年	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
平成 22 年 ^{注)}	(西北西)	(0.9)	(17.7)	(西)
平成 23 年	北	1.0	24.9	西
平成 24 年	北	1.1	23.5	西
平成 25 年	北	1.1	23.8	北北東
平成 26 年	北北西	1.1	19.6	西
平成 27 年	北北西	1.0	19.1	北北東
平成 28 年	北北西	1.0	19.3	北、北北東
平成 29 年	北北西	1.1	18.9	北北西
平成 30 年	北	1.0	22.7	南
令和元年	北	1.1	20.9	北北西
令和 2 年	北	1.0	24.4	北北東

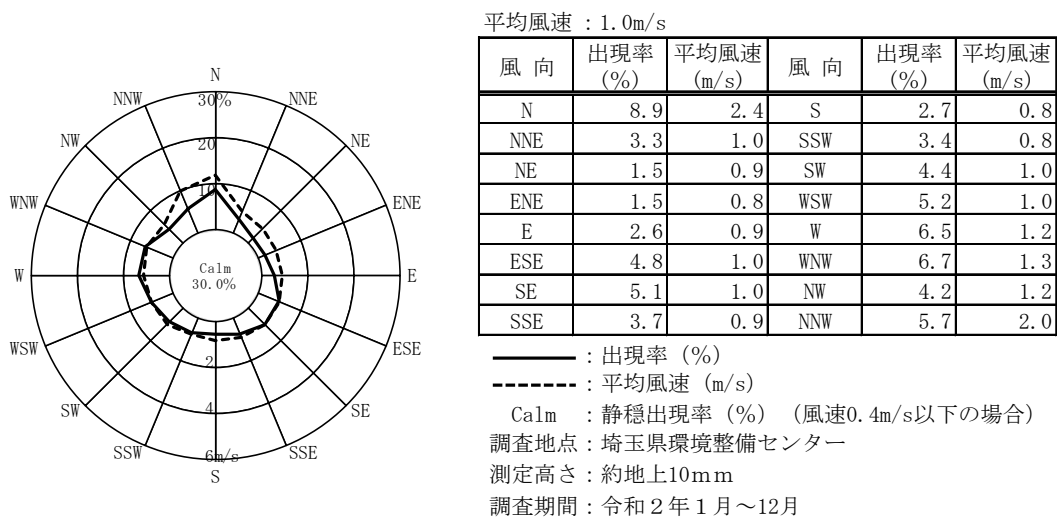
注) 平成22年のデータについては、平成22年4月～12月（9ヶ月間）のデータを集計した結果であり、（ ）で示している。

資料：埼玉県環境整備センター提供資料



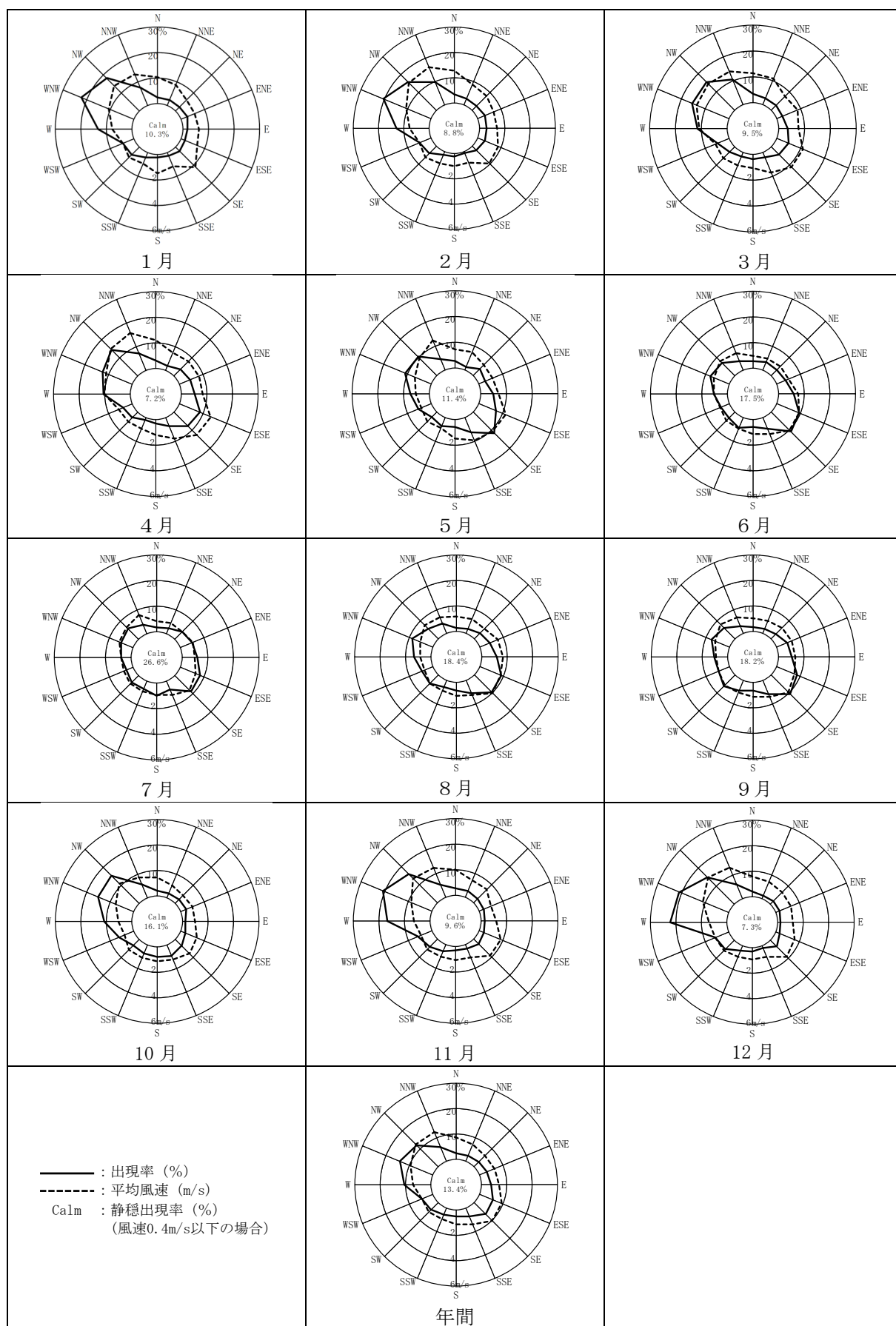
資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

図 3.2-3 年間風配図（寄居地域気象観測所、令和 2 年）



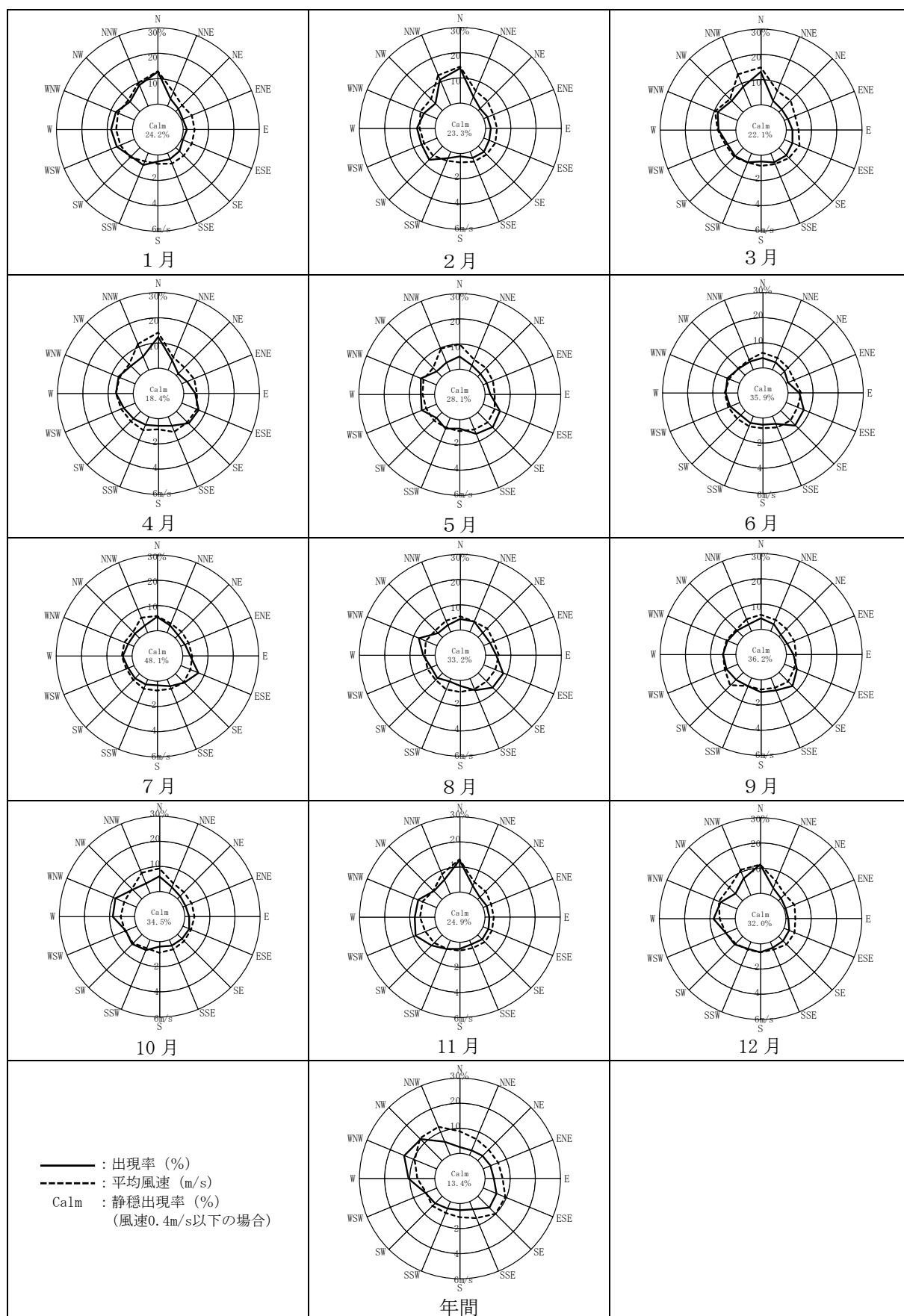
資料：埼玉県環境整備センター提供資料

図 3.2-4 年間風配図（埼玉県環境整備センター内の気象観測地点、令和 2 年）



資料：「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)

図 3.2-5 月別風配図(寄居地域気象観測所、令和2年)



資料：埼玉県環境整備センター提供資料

図 3.2-6 月別風配図（埼玉県環境整備センター内の気象観測地点、令和2年）

2) 大気質

① 大気質の状況

(ア) 大気汚染常時監視測定局における大気質の状況

関係市町村内における大気汚染常時監視測定局及び測定項目は表 3.2-7 に、測定局の位置は図 3.2-7 に示すとおりである。

一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が寄居、小川の2地点、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が寄居桜沢の1地点に設置されている。

また、有害大気汚染物質（カドミウム、鉛）の測定を行っている大気汚染常時監視測定局及び測定項目は表 3.2-8 に示すとおり、計画地周辺では熊谷、東松山、秩父市役所で測定が行われている。

表 3.2-7 大気汚染常時監視測定局と測定項目

図中 番号	測定局名	測定場所	所在地	局種別	二酸化 硫黄	二酸化 窒素	一酸化 炭素 ^{注2)}	光化学 オキシ ダント	浮遊粒子 状物質	微小粒子 状物質	非メタン 炭化水素	ダイオ キシン類
①	寄居	寄居小学校	寄居町寄居206	一般局	○	○		○	○	○	○	
②	小川	小川高等学校	小川町大塚1105	一般局		○		○	○	○		○
③	寄居桜沢	国有地	寄居町桜沢234-3	自排局		○			○	○	○	

注1) 図中番号は、図3.2-7の番号と対応する。

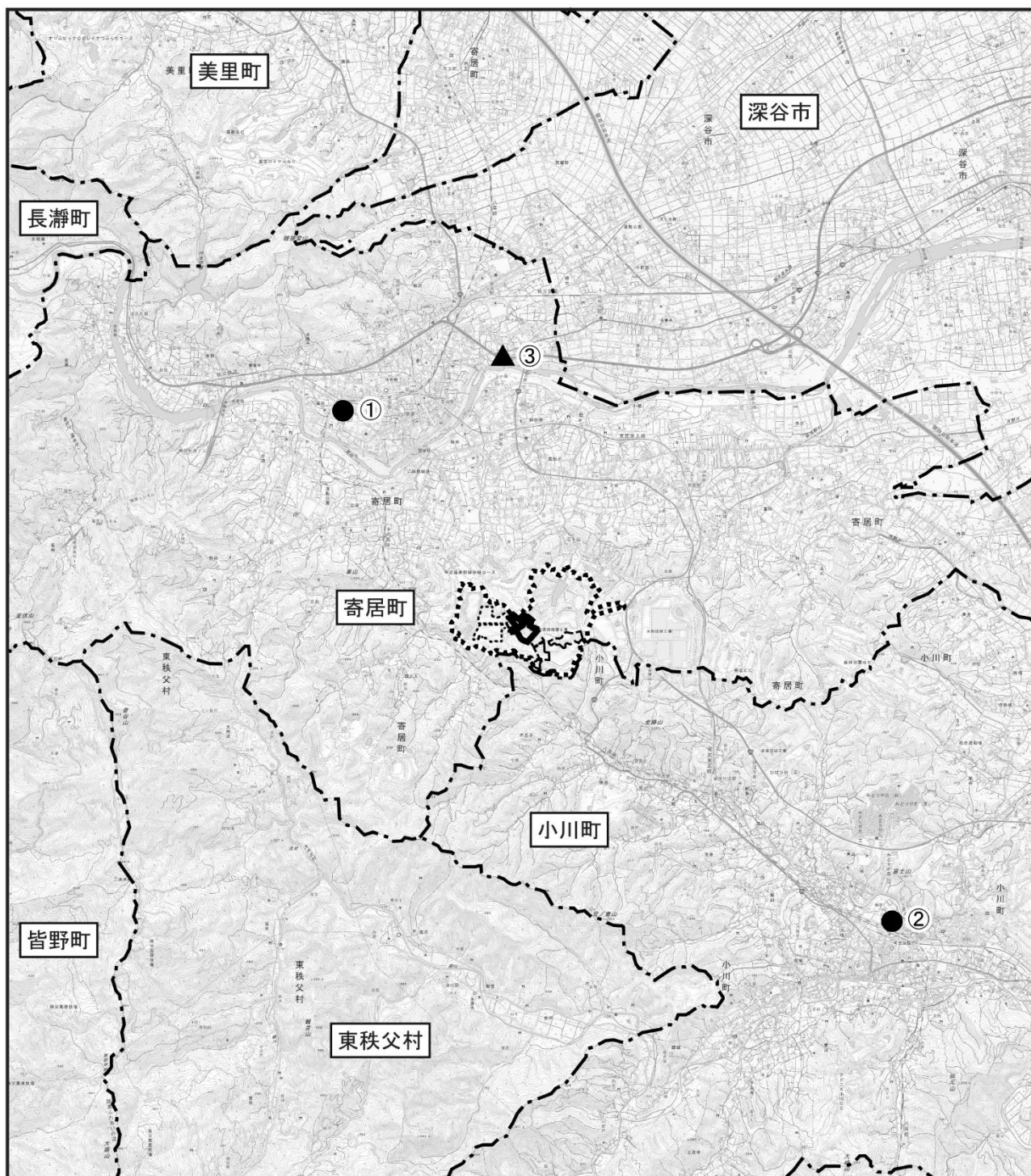
注2) 一酸化炭素については、計画地周辺に位置する測定局では測定されていない。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3.2-8 有害大気汚染物質の測定を行っている大気汚染常時監視測定局と測定項目

測定局名	測定場所	所在地	地域区分	カドミウム	鉛
熊谷	熊谷市役所	熊谷市宮町 2-47-1	一般環境	○	○
東松山	五領町近隣公園	東松山市五領町 8	一般環境	○	○
秩父市役所	秩父市役所	秩父市熊木町 8-15	固定発生源周辺	○	○

資料：「平成29年度 大気環境調査事業報告書」（平成31年3月、埼玉県環境部大気環境課）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

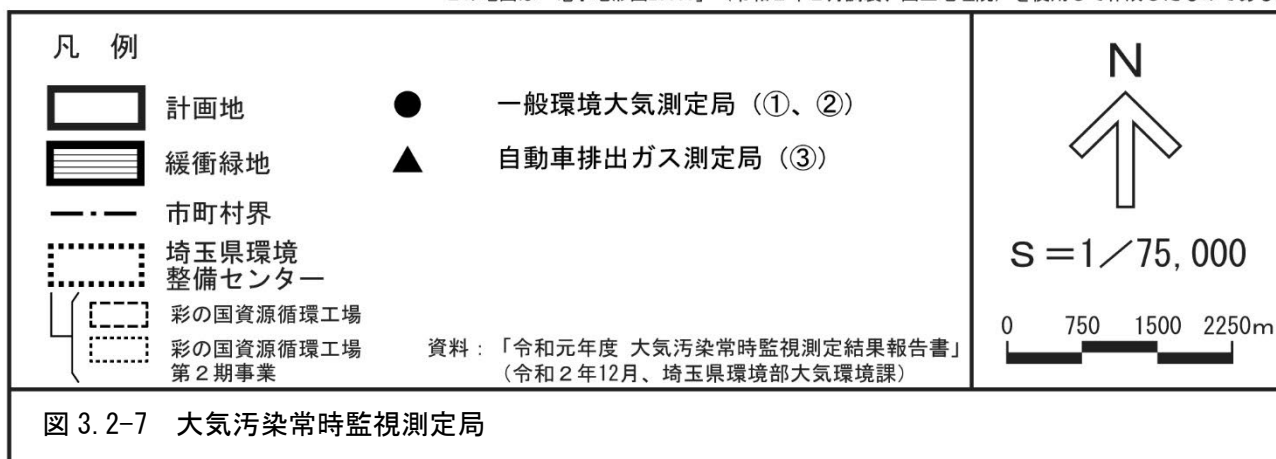


図 3.2-7 大気汚染常時監視測定局

7) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄の測定結果（令和元年度）は表 3.2-9 に示すとおり、寄居測定局で環境基準の長期的評価及び短期的評価を達成している。

また、寄居測定局における二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3.2-10 及び図 3.2-8 に示すとおり、横ばい傾向にある。

表 3.2-9 二酸化硫黄の測定結果（令和元年度）

図中 番号	測定 局名	有効測 定日数	測定 時間	年平均値 (ppm)	1 時間値が 0.10ppmを 超えた時間	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	1 時間値 の最高値	日平均値の 2 %除外値	日平均値が0.04ppmを 超えた日が2日以上 連続したことの有無	環境基準の長期的評 価による日平均値が 0.04ppmを超えた日数	環境基準	
		(日)	(時間)		(時間)	(日)	(ppm)	(ppm)	(有・無)	(日)	長期的 評価	短期的 評価
①	寄居	365	8,662	0.002	0	0	0.008	0.004	無	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

長期的評価：日平均値の2 %除外値が0.04ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1 時間値が0.1ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppm以下であること。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3.2-10 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	0.001未満	0.001	0.001	0.001	0.002

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課）

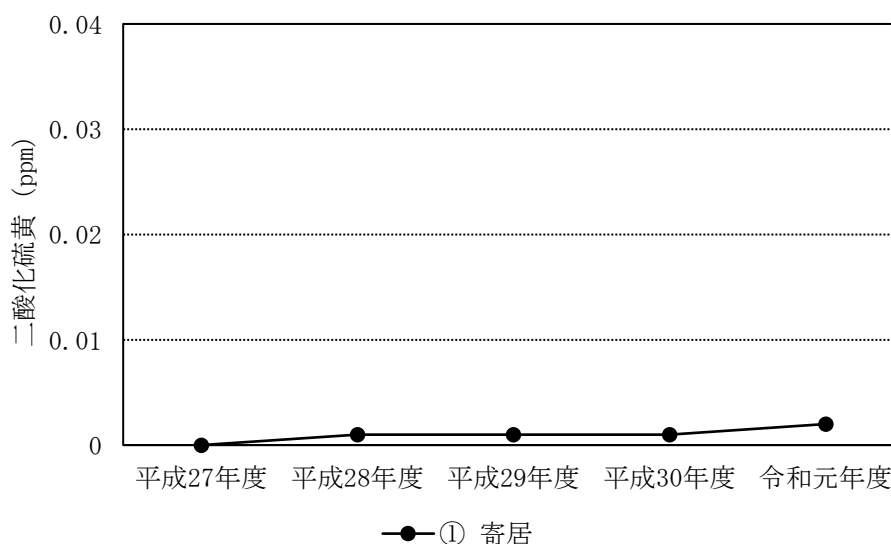


図 3.2-8 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

4) 二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素の測定結果（令和元年度）は表 3. 2-11 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3. 2-12 及び図 3. 2-9 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3. 2-11 二酸化窒素測定結果（令和元年度）

図中 番号	測定 局名	有効測 定日数	測定 時間	年平均値	1 時間 値の最 高値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以 上0.06ppm以下の日数 とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価による日平 均値が0.06ppmを 超えた日数	環境基準
		(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	(達成○・非達成×)
①	寄居	365	8,665	0.004	0.030	0	0	0	0	0.009	0	○
②	小川	348	8,298	0.005	0.029	0	0	0	0	0.012	0	○
③	寄居桜沢	365	8,651	0.010	0.045	0	0	0	0	0.018	0	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3. 2-12 二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004
②	小川	0.008	0.007	0.007	0.006	0.005
③	寄居桜沢	0.012	0.012	0.011	0.01	0.010

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

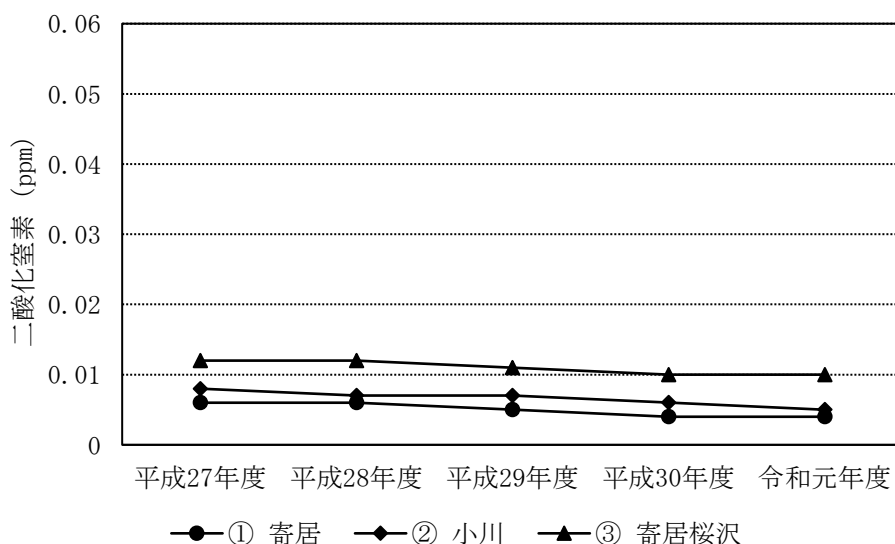


図 3. 2-9 二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

り) 光化学オキシダント (O_x)

光化学オキシダントの測定結果（令和元年度）は表 3.2-13 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成していない。

また、すべての測定局における光化学オキシダントの年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3.2-14 及び図 3.2-10 に示すとおり、横ばい傾向にある。

表 3.2-13 光化学オキシダントの測定結果（令和元年度）

図中 番号	測定 局名	昼間の測 定日数	昼間の測 定時間	昼間の 1 時 間値の年平 均値	昼間の 1 時間 値の最高値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた 日数と時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数 と時間数		環境基準 (達成○・非達成×)
		(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	
①	寄居	365	5,416	0.034	0.122	95	467	1	1	×
②	小川	365	5,420	0.033	0.119	91	501	0	0	×

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

環境基準は、1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3.2-14 光化学オキシダントの年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	0.035	0.035	0.037	0.036	0.034
②	小川	0.034	0.034	0.035	0.036	0.033

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課）

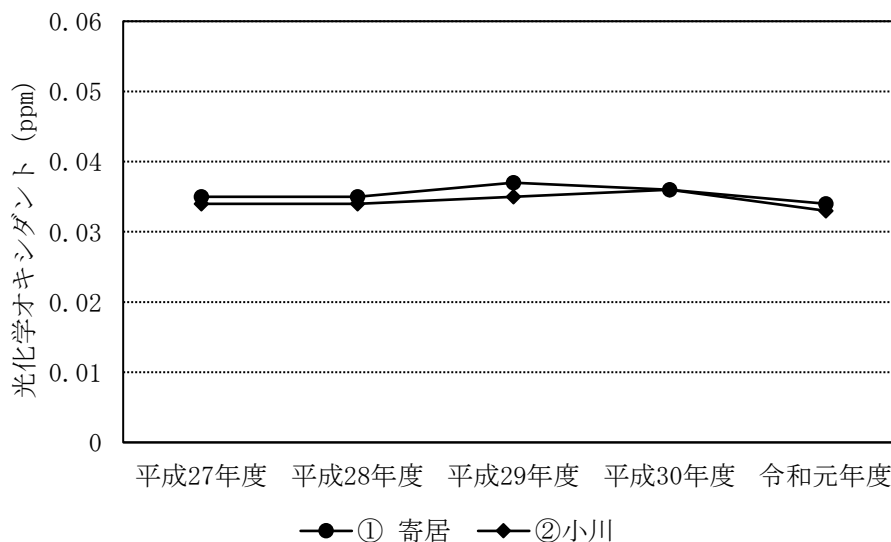


図 3.2-10 光化学オキシダントの年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

I) 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の測定結果（令和元年度）は表 3. 2-15 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3. 2-16 及び図 3. 2-11 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3. 2-15 浮遊粒子状物質の測定結果（令和元年度）

図中 番号	測定 局名	有効測定 日数	測定時間 数	年平均値	1 時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1 時間値の最 高値	日平均値の 2 % 除外値	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を 超えた日が 2 日以上連続 したことの有無	環境基準の長期的評価に よる日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数	環境基準	
		(日)	(時間)	(mg/m^3)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m^3)	(mg/m^3)	(有・無)	(日)	長期的 評価	短期的 評価
①	寄居	364	8,707	0.015	0	0	0	0	0.095	0.045	無	0	○	○
②	小川	364	8,714	0.013	0	0	0	0	0.090	0.039	無	0	○	○
③	寄居桜沢	354	8,447	0.015	0	0	0	0	0.159	0.037	無	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

長期的評価：日平均値の 2 % 除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が 2 日以上連続しないこと。

短期的評価：1 時間平均値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3. 2-16 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

単位： mg/m^3

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	0.018	0.016	0.015	0.016	0.015
②	小川	0.017	0.014	0.014	0.015	0.013
③	寄居桜沢	0.020	0.017	0.015	0.016	0.015

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

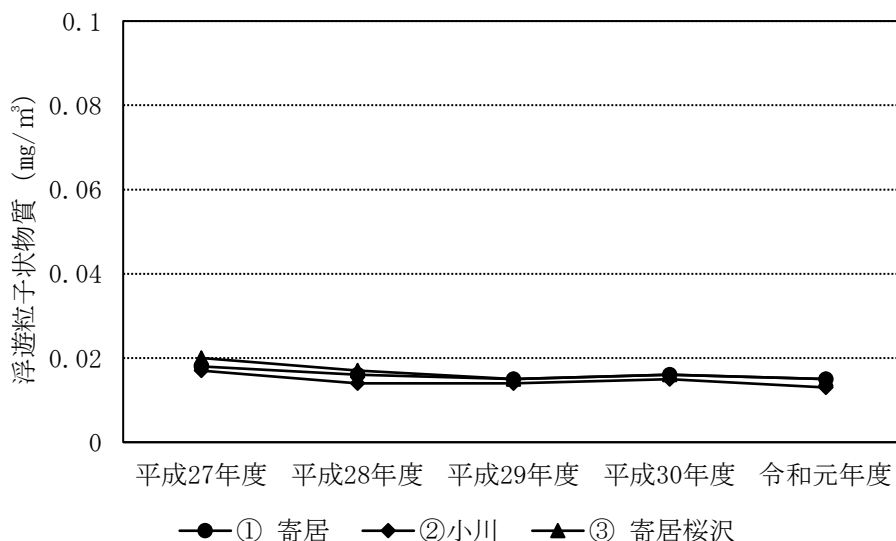


図 3. 2-11 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

㊦) 微小粒子状物質 (PM2.5)

微小粒子状物質の測定結果（令和元年度）は表 3.2-17 に示すとおり、すべての測定局で環境基準の長期的評価及び短期的評価を達成している。

また、すべての測定局における微小粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3.2-18 及び図 3.2-12 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-17 微小粒子状物質の測定結果（令和元年度）

図中番号	測定局名	有効測定日数	日平均値の年平均値	日平均値の年間98%値	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数		環境基準	
		(日)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(%)	長期的評価	短期的評価
①	寄居	356	9.5	28.2	1	0.3	○	○
②	小川	355	9.5	23.8	1	0.3	○	○
③	寄居桜沢	354	9.8	24.2	0	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

長期的評価：1 年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

短期的評価：1 日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3.2-18 微小粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	11.7	10.4	10.6	11.2	9.5
②	小川	12.8	11.3	10.8	11.3	9.5
③	寄居桜沢	-	-	12.8	11.3	9.8

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年12月、埼玉県環境部大気環境課）

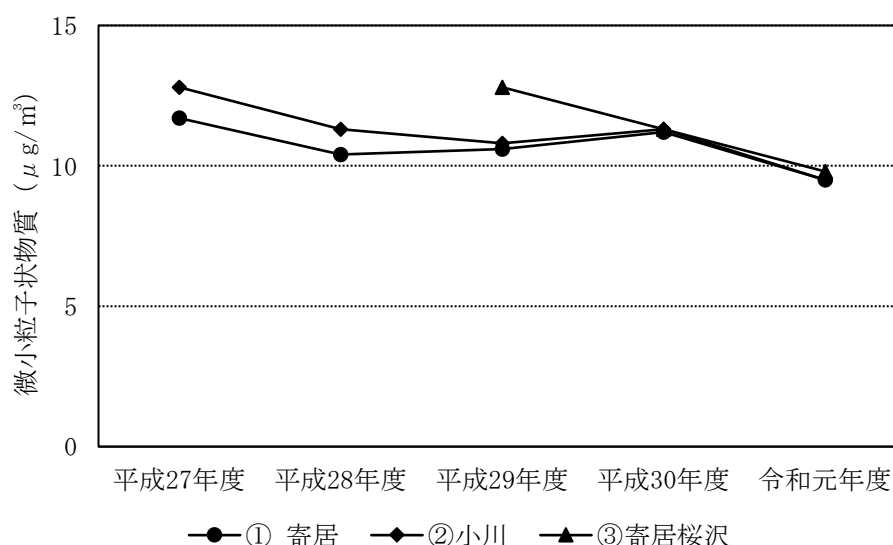


図 3.2-12 微小粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）

か) 非メタン炭化水素

非メタン炭化水素の測定結果（令和元年度）は表 3.2-19 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における非メタン炭化水素の年平均値の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 3.2-20 及び図 3.2-13 に示すとおり、概ね増加傾向にある。

表 3.2-19 非メタン炭化水素の測定結果（令和元年度）

図中 番号	測定 局名	年平均値	6～9時の測定日数	6～9時における 年平均値	6～9時の3時間平均値が 0.20ppmCを超えた日数	6～9時の3時間平均値が 0.31ppmCを超えた日数	指針 (達成○・非達成×)
		(ppmC)	(日)	(ppmC)	(日)	(日)	
③	寄居桜沢	0.1	358	0.09	7	0	○

注1) 指針達成状況 ○：達成、×：非達成

指針は、光化学オキシダントの日最高1時間値の0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にあること。

注2) 寄居では令和元年度測定されていない。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3.2-20 非メタン炭化水素の6～9時における年平均値の経年変化
（平成 27 年度～令和元年度）

単位：ppmC

図中番号	測定局名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	寄居	0.03	0.03	0.05	0.15	-
③	寄居桜沢	0.05	0.06	0.08	0.09	0.09

注) 各年度の数値欄に「-」の表示がある場合は、測定されていないことを示す。

資料：「令和元年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課）

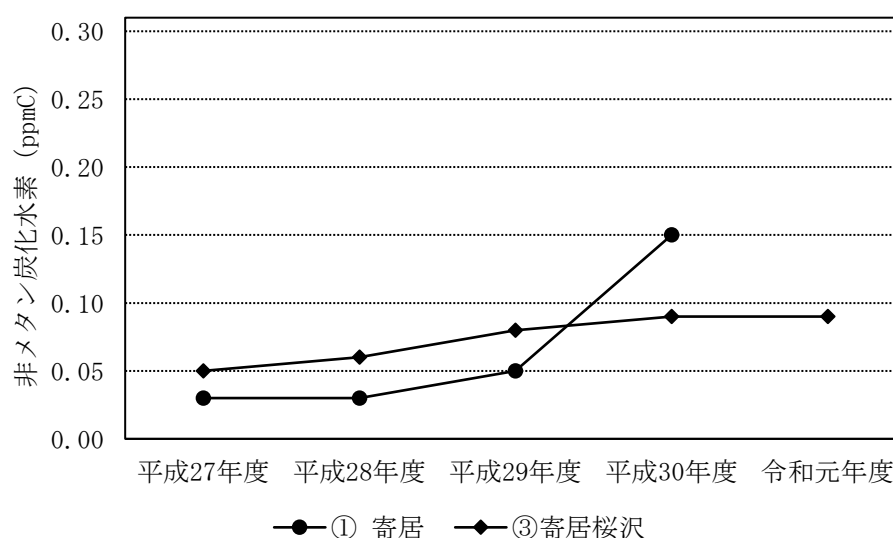


図 3.2-13 非メタン炭化水素の6～9時における年平均値の経年変化
（平成 27 年度～令和元年度）

キ) ダイオキシン類 (Dxns)

ダイオキシン類の測定結果（令和 2 年度）は表 3. 2-21 に示すとおり、小川測定局における年平均値は 0.014pg-TEQ/m³であり、環境基準を達成している。

また、小川測定局におけるダイオキシン類の年平均値の経年変化（平成 28 年度～令和 2 年度）は表 3. 2-22 及び図 3. 2-14 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3. 2-21 ダイオキシン類の測定結果（令和 2 年度）

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/m ³)			環境基準 (pg-TEQ/m ³)
図中番号	測定局名	夏季	冬季	年平均値	
②	小川	0.011	0.016	0.014	0.6 以下

資料：「令和 2 年度 ダイオキシン類大気常時監視結果について」（令和 3 年 9 月、埼玉県環境部大気環境課）

表 3. 2-22 ダイオキシン類の年平均値の経年変化（平成 28 年度～令和 2 年度）

単位：pg-TEQ/m³

図中番号	測定局名	平成 28 年	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
②	小川	0.013	0.018	0.011	0.013	0.014

資料：「ダイオキシン類大気常時監視結果について（平成28年度～令和 2 年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

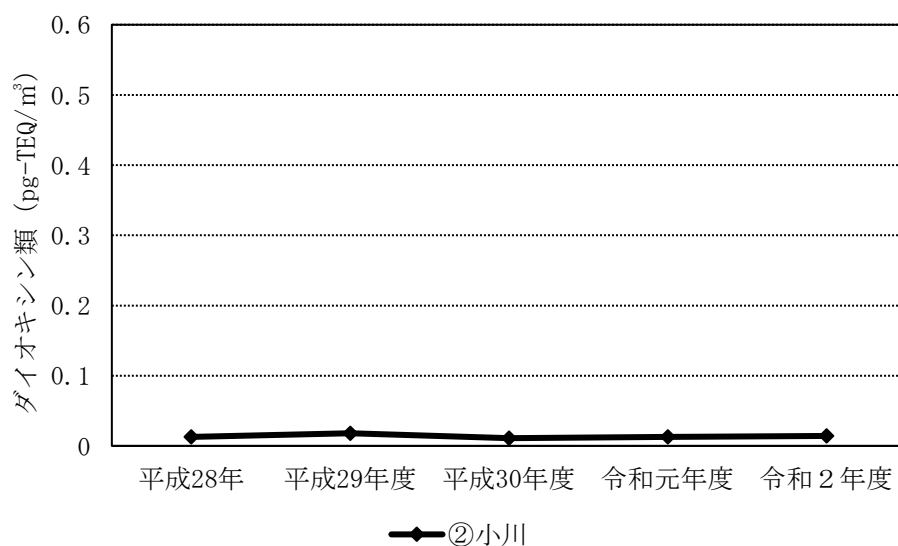


図 3. 2-14 ダイオキシン類の年平均値の経年変化（平成 28 年度～令和 2 年度）

7) 有害大気汚染物質

a カドミウム

カドミウムの年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 3.2-23 及び図 3.2-15 に示すとおり、増減を繰り返しているものの概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-23 カドミウムの年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

単位：ng/m³

測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
熊谷	0.18	0.21	0.23	0.18	0.18
東松山	0.18	0.20	0.20	0.21	0.17
秩父市役所	0.25	0.22	0.39	0.20	0.22

資料：「大気環境調査事業報告書（平成26年度～平成29年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

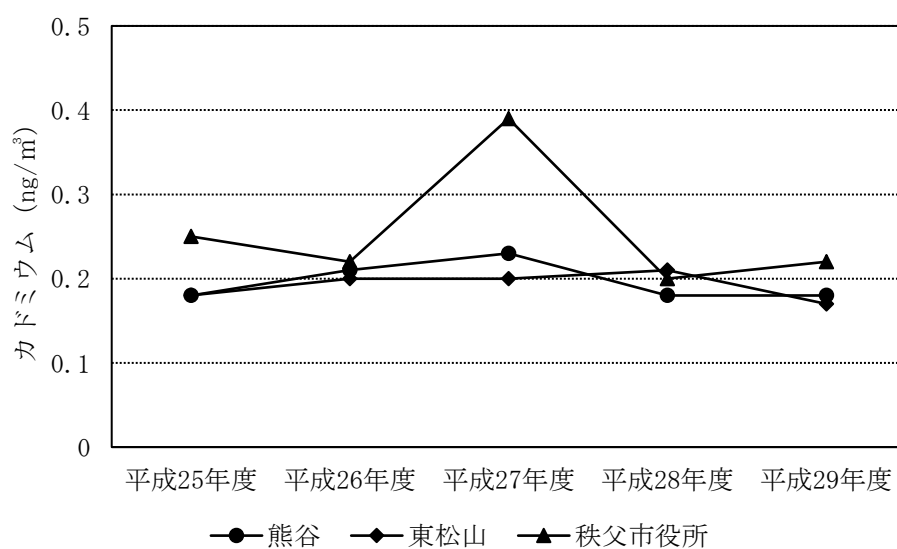


図 3.2-15 カドミウムの年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

b 鉛

鉛の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 3.2-24 及び図 3.2-16 に示すとおり、概ね減少傾向にある。

表 3.2-24 鉛の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

単位：ng/m³

測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
熊谷	8.0	7.6	7.3	5.2	4.9
東松山	7.7	7.8	6.6	6.2	5.5
秩父市役所	6.0	6.5	4.2	4.6	4.2

資料：「大気環境調査事業報告書（平成26年度～平成29年度）」（埼玉県環境部大気環境課）

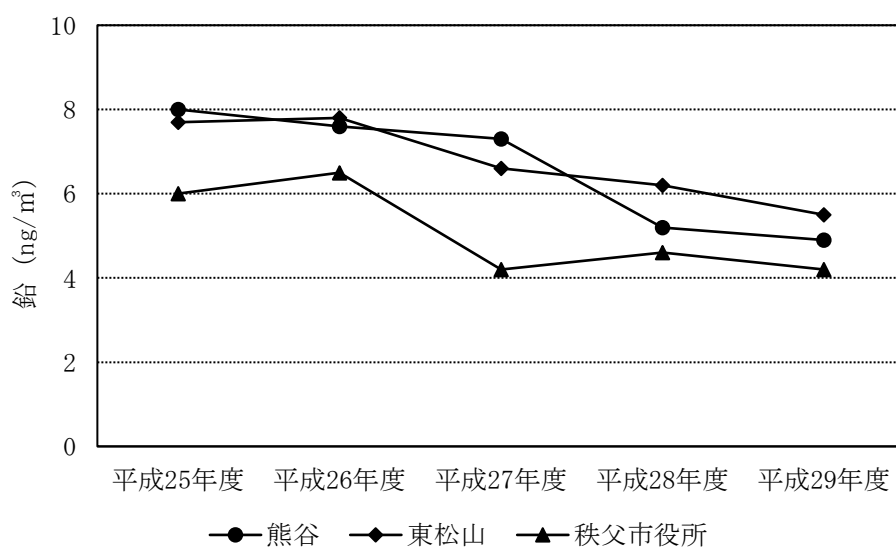


図 3.2-16 鉛の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

(ア) 埼玉県環境整備センター周辺における大気質の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、埼玉県環境整備センター周辺の7地点で大気質の測定を実施している。埼玉県環境整備センター周辺の7地点は表3.2-25及び図3.2-17に示すとおりである。

測定項目・方法等は表3.2-26に、過去5年間の測定期間は表3.2-27に示すとおりである。

表 3.2-25 大気質の測定場所・住所

図中番号	測定場所	住所
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	寄居町大字三ヶ山 130-3 番地先
No.2	蔵田地区内	寄居町大字富田 4053 番地先
No.3	天神社前	寄居町大字富田 3697 番地先
No.4	深田地区内	小川町大字木呂子 184 番地先
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	小川町大字木呂子 561 番地先
No.6	五之坪集落農業センター	寄居町大字西ノ入 2872 番地先
No.7	平倉住宅脇	寄居町大字西ノ入 452-1 番地先

注) 図中番号は、図3.2-17の番号と対応する。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-26 測定項目・方法等

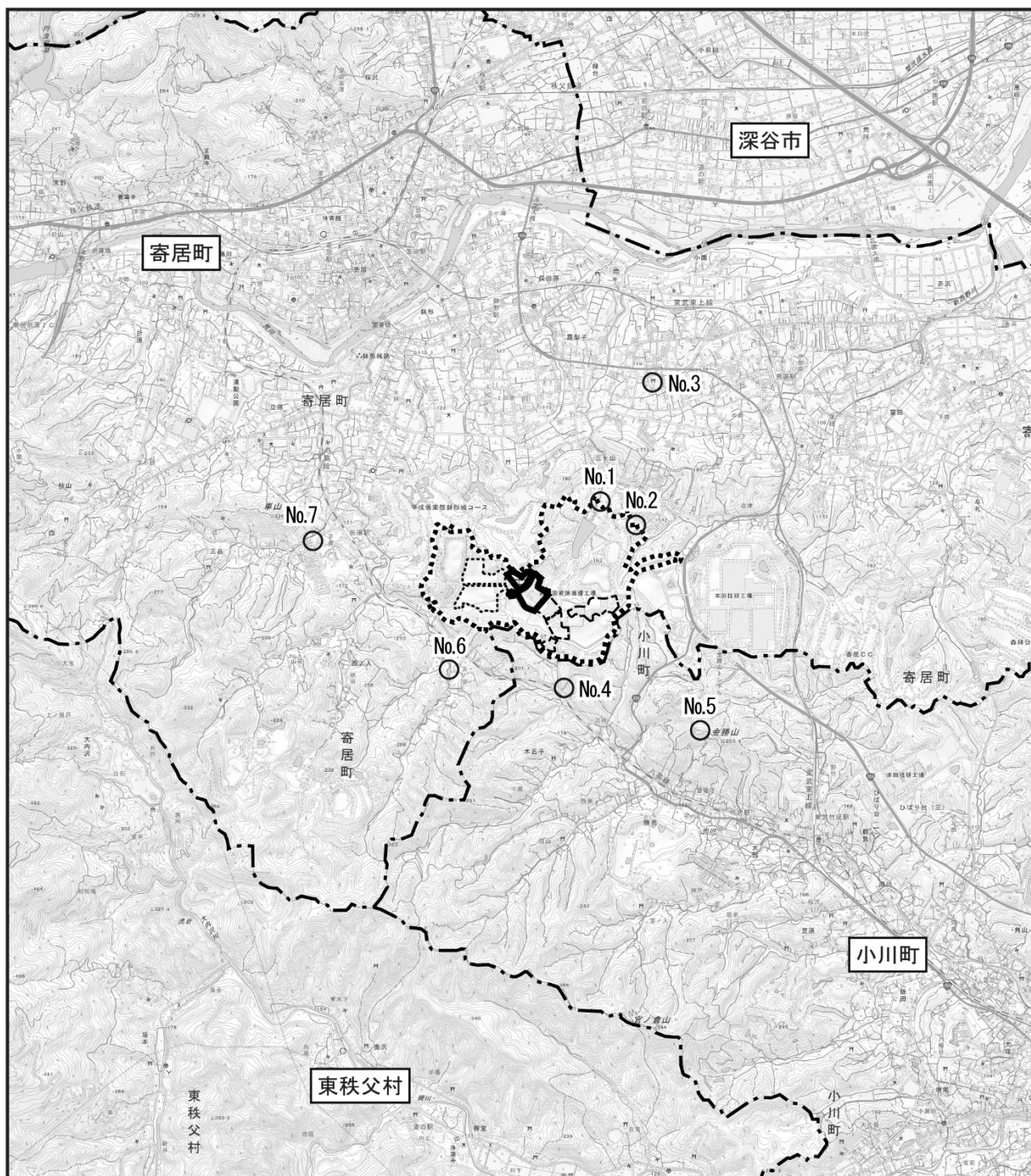
項目	測定方法	測定回数
二酸化硫黄 (SO ₂)	環境基本法に定める方法 (ダイオキシン類についてはダイオキシン類対策特別措置法に定める方法、水銀については大気汚染防止法に定める方法。)	四季に合わせて年4回、各7日間 (春季、夏季、秋季、冬季)
一酸化炭素 (CO)		
二酸化窒素 (NO ₂)		
浮遊粒子状物質 (SPM)		
ダイオキシン類 (Dxns)		
水銀		年1回以上

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-27 過去5年間の測定期間

年度	測定期間	
	水銀以外	水銀
平成 28 年度	春季：平成28年5月19日（木）～5月26日（木） 夏季：平成28年8月22日（月）～8月29日（月） 秋季：平成28年10月13日（木）～10月21日（木） 冬季：平成29年1月12日（木）～1月19日（木）	平成 28 年 8 月 24 日（水） ～ 8 月 26 日（金）
平成 29 年度	春季：平成29年5月18日（木）～5月25日（木） 夏季：平成29年7月13日（木）～7月20日（木） 秋季：平成29年10月12日（木）～10月19日（木） 冬季：平成30年1月11日（木）～1月18日（木）	平成 29 年 7 月 12 日（水）、 18 日（火）～19 日（水）
平成 30 年度	春季：平成30年5月29日（火）～6月4日（月） 夏季：平成30年7月27日（金）～8月3日（金） 秋季：平成30年10月11日（木）～10月18日（木） 冬季：平成31年1月10日（木）～1月17日（木）	平成 30 年 7 月 30 日（月） ～ 8 月 1 日（水）
令和元年度	春季：令和元年5月16日（木）～5月23日（木） 夏季：令和元年7月11日（木）～7月18日（木） 秋季：令和元年10月10日（木）～10月17日（木） 冬季：令和2年1月9日（木）～1月16日（木）	令和元年 7 月 11 日（木） ～12 日（金）
令和2年度	春季：令和2年5月14日（木）～5月21日（木） 夏季：令和2年7月9日（木）～7月16日（木） 秋季：令和2年10月8日（木）～10月15日（木） 冬季：令和3年1月14日（木）～1月21日（木）	令和2年 8 月 12 日（水） ～ 8 月 13 日（木）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

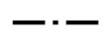
凡 例



計画地



緩衝緑地



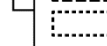
市町村界



埼玉県環境
整備センター



彩の国資源循環工場



彩の国資源循環工場
第2期事業



大気質の測定場所（No.1～No.7）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査結果」
（埼玉県環境整備センター）



S = 1 / 50,000

0 500 1000 1500m

図 3.2-17 大気質の測定場所

7) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄の測定結果は、表 3.2-28(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、二酸化硫黄の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は表 3.2-29 及び図 3.2-18 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-28(1) 二酸化硫黄の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.04
No.2	蔵田地区内	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
No.3	天神社前	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
No.4	深田地区内	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.001	0.000	0.000	0.0001	0.001	
No.6	五之坪集落農業センター	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
No.7	平倉住宅脇	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-28(2) 二酸化硫黄の調査結果 (1時間値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.001	0.000	0.000	0.002	0.002	0.1
No.2	蔵田地区内	0.000	0.000	0.000	0.002	0.002	
No.3	天神社前	0.000	0.000	0.000	0.002	0.002	
No.4	深田地区内	0.002	0.000	0.001	0.002	0.002	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.010	0.003	0.000	0.003	0.010	
No.6	五之坪集落農業センター	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	
No.7	平倉住宅脇	0.002	0.000	0.000	0.000	0.002	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-29 二酸化硫黄の(四季最大値)の経年変化(平成28年度～令和2年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.003	0.003	0.003	0.001	0.000
No.2	蔵田地区内	0.003	0.002	0.003	0.001	0.000
No.3	天神社前	0.003	0.005	0.000	0.000	0.000
No.4	深田地区内	0.002	0.002	0.001	0.001	0.000
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001
No.6	五之坪集落農業センター	0.003	0.003	0.002	0.001	0.000
No.7	平倉住宅脇	0.003	0.001	0.002	0.001	0.000

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

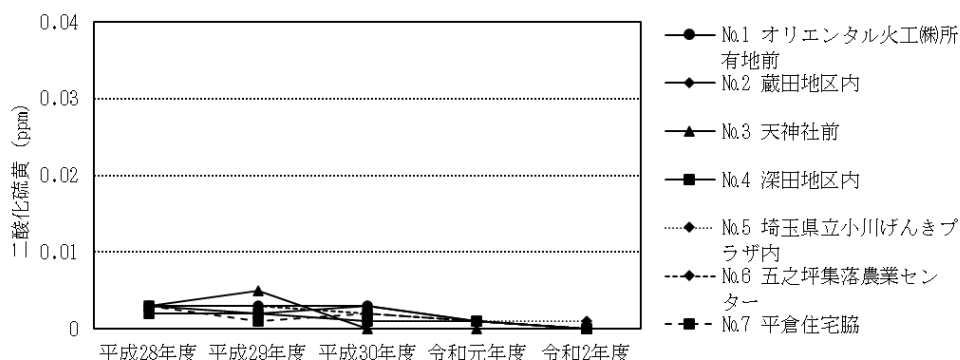


図 3.2-18 二酸化硫黄 (四季最大値) の経年変化 (平成28年度～令和2年度)

イ) 二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素の測定結果は、表 3.2-30 に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、二酸化窒素の 1 時間値の 1 日平均値の期間最大値（四季最大値）の経年変化は表 3.2-31 及び図 3.2-19 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-30 二酸化窒素の調査結果（1 時間値の 1 日平均値の期間最大値：令和 2 年度）

調査地点		1 時間値の 1 日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.009	0.008	0.009	0.013	0.013	0.06
No.2	蔵田地区内	0.008	0.009	0.012	0.013	0.013	
No.3	天神社前	0.008	0.006	0.007	0.011	0.011	
No.4	深田地区内	0.008	0.005	0.006	0.009	0.009	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.008	0.007	0.005	0.009	0.009	
No.6	五之坪集落農業センター	0.005	0.005	0.004	0.007	0.007	
No.7	平倉住宅脇	0.005	0.005	0.004	0.009	0.009	

資料：「令和 2 年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-31 二酸化窒素の（四季最大値）の経年変化（平成 28 年度～令和 2 年度）

調査地点		1 時間値の 1 日平均値の期間最大値（四季最大値）				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.018	0.014	0.010	0.009	0.013
No.2	蔵田地区内	0.012	0.014	0.011	0.010	0.013
No.3	天神社前	0.013	0.015	0.011	0.009	0.011
No.4	深田地区内	0.009	0.012	0.010	0.010	0.009
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.010	0.009	0.010	0.010	0.009
No.6	五之坪集落農業センター	0.006	0.010	0.008	0.007	0.007
No.7	平倉住宅脇	0.008	0.011	0.009	0.005	0.009

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

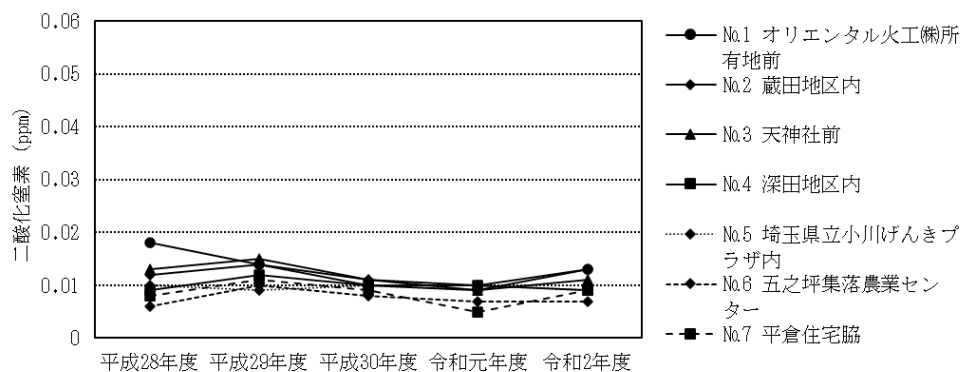


図 3.2-19 二酸化窒素（四季最大値）の経年変化（平成 28 年度～令和 2 年度）

り) 一酸化炭素 (CO)

一酸化炭素の測定結果は、表 3.2-32(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、一酸化炭素の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は表 3.2-33 及び図 3.2-20 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-32(1) 一酸化炭素の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	10
No.2	蔵田地区内	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	
No.3	天神社前	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	
No.4	深田地区内	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.6	五之坪集落農業センター	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	
No.7	平倉住宅脇	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-32(2) 一酸化炭素の調査結果 (1時間値の8時間平均値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の8時間平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	20
No.2	蔵田地区内	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.3	天神社前	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	
No.4	深田地区内	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.6	五之坪集落農業センター	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
No.7	平倉住宅脇	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-33 一酸化炭素の（四季最大値）の経年変化（平成28年度～令和2年度）

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値（四季最大値）				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
No.2	蔵田地区内	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
No.3	天神社前	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
No.4	深田地区内	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
No.6	五之坪集落農業センター	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
No.7	平倉住宅脇	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

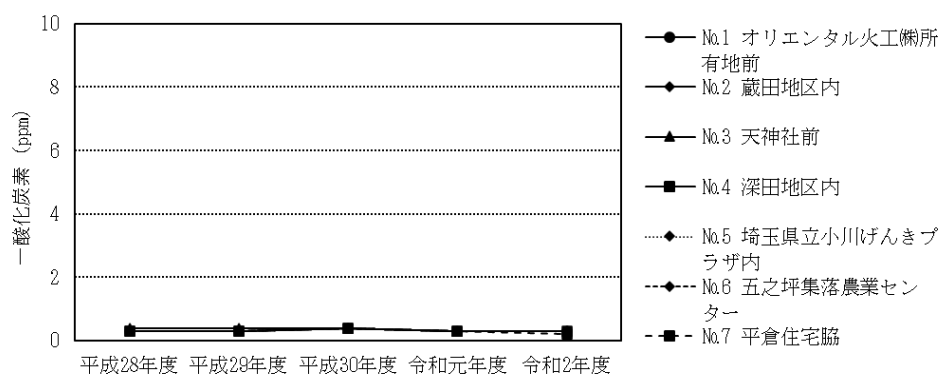


図 3.2-20 一酸化炭素の（四季最大値）の経年変化（平成28年度～令和2年度）

I) 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の測定結果は、表 3.2-34(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、浮遊粒子状物質の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は、表 3.2-35 及び図 3.2-21 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-34(1) 浮遊粒子状物質の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.023	0.029	0.012	0.018	0.029	0.10
No.2	蔵田地区内	0.017	0.015	0.013	0.016	0.017	
No.3	天神社前	0.022	0.030	0.013	0.019	0.030	
No.4	深田地区内	0.016	0.023	0.012	0.020	0.023	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.017	0.030	0.011	0.018	0.030	
No.6	五之坪集落農業センター	0.014	0.020	0.011	0.017	0.020	
No.7	平倉住宅脇	0.019	0.018	0.015	0.017	0.019	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 3.2-34(2) 浮遊粒子状物質の調査結果 (1時間値の期間最大値：令和2年度)

調査地点		1時間値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.037	0.045	0.019	0.031	0.045	0.20
No.2	蔵田地区内	0.024	0.021	0.022	0.028	0.028	
No.3	天神社前	0.036	0.047	0.021	0.032	0.047	
No.4	深田地区内	0.023	0.059	0.017	0.037	0.059	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.031	0.054	0.015	0.034	0.054	
No.6	五之坪集落農業センター	0.021	0.026	0.023	0.033	0.033	
No.7	平倉住宅脇	0.032	0.024	0.022	0.038	0.038	

資料：「令和2年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 3.2-35 浮遊粒子状物質の(四季最大値)の経年変化(平成28年度～令和2年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.040	0.034	0.035	0.020	0.029
No.2	蔵田地区内	0.042	0.030	0.034	0.022	0.017
No.3	天神社前	0.039	0.033	0.035	0.021	0.030
No.4	深田地区内	0.043	0.031	0.028	0.018	0.023
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.039	0.030	0.033	0.020	0.030
No.6	五之坪集落農業センター	0.042	0.029	0.035	0.016	0.020
No.7	平倉住宅脇	0.039	0.042	0.032	0.019	0.019

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

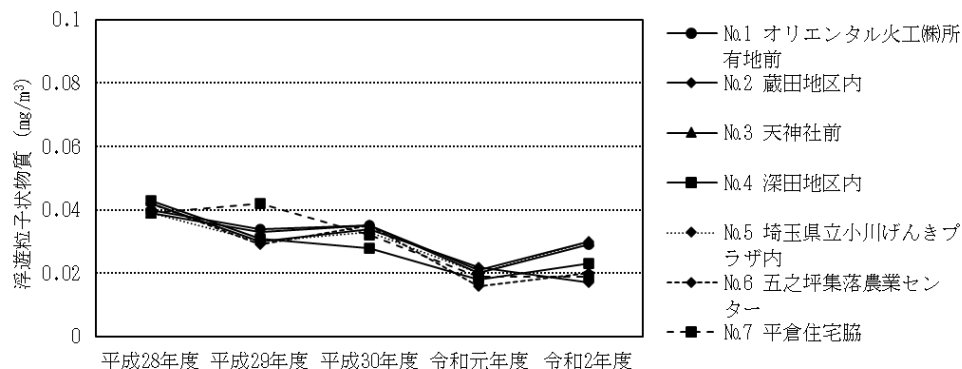


図 3.2-21 浮遊粒子状物質の(四季最大値)の経年変化(平成28年度～令和2年度)

㊦) ダイオキシン類 (Dxns)

ダイオキシン類の測定結果は、表 3. 2-36 に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、ダイオキシン類の四季最大値の経年変化は、表 3. 2-37 及び図 3. 2-22 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 3. 2-36 ダイオキシン類の調査結果 (令和 2 年度)

調査地点		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	環境基準値
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0. 0062	0. 0056	0. 0035	0. 0130	0. 0130	0. 6
No.2	蔵田地区内	0. 0059	0. 0032	0. 0035	0. 0120	0. 0120	
No.3	天神社前	0. 0067	0. 0068	0. 0080	0. 0120	0. 0120	
No.4	深田地区内	0. 0065	0. 0051	0. 0031	0. 0120	0. 0120	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0. 0060	0. 0069	0. 0028	0. 0110	0. 0110	
No.6	五之坪集落農業センター	0. 0057	0. 0050	0. 0029	0. 0100	0. 0100	
No.7	平倉住宅脇	0. 0056	0. 0058	0. 0028	0. 0110	0. 0110	

資料：「令和 2 年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査 (埼玉県による測定・検査) の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 3. 2-37 ダイオキシン類の四季最大値の経年変化 (平成 28 年度～令和 2 年度)

調査地点		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0. 0180	0. 0085	0. 0180	0. 0190	0. 0130
No.2	蔵田地区内	0. 0130	0. 0220	0. 0180	0. 0170	0. 0120
No.3	天神社前	0. 0150	0. 0300	0. 1200	0. 0320	0. 0120
No.4	深田地区内	0. 0120	0. 0210	0. 0130	0. 0087	0. 0120
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0. 0170	0. 0240	0. 0160	0. 0150	0. 0110
No.6	五之坪集落農業センター	0. 0120	0. 0170	0. 0140	0. 0180	0. 0100
No.7	平倉住宅脇	0. 0150	0. 0190	0. 0140	0. 0140	0. 0110

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査 (埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

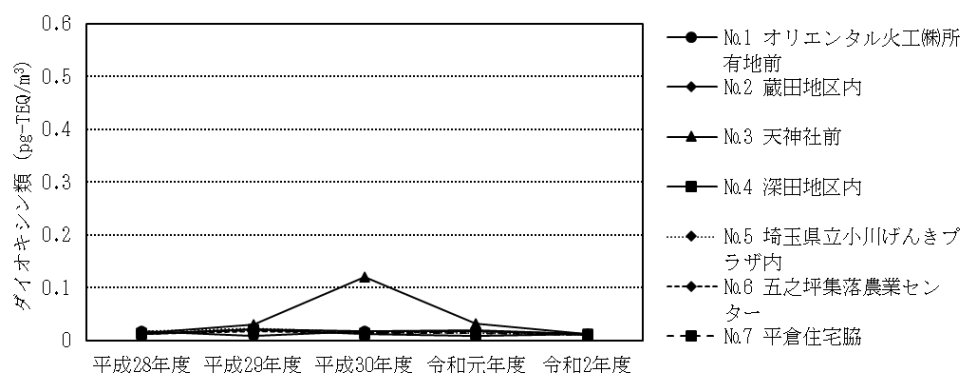


図 3. 2-22 ダイオキシン類の四季最大値の経年変化 (平成 28 年度～令和 2 年度)

か) 水 銀

水銀の過去5年間の経年変化は、表 3.2-38 及び図 3.2-23 に示すとおり、すべての地点で指針値を下回っている。また、水銀の過去5年間の経年変化は、概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-38 水銀の過去5年間の経年変化（平成28年度～令和2年度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

調査地点		比較基準	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.04	0.0021	0.0021	0.0017	0.0016	0.0016
No.2	蔵田地区内		0.0020	0.0030	0.0016	0.0023	0.0023
No.3	天神社前		0.0018	0.0027	0.0016	0.0018	0.0018
No.4	深田地区内		0.0020	0.0014	0.0021	0.0019	0.0019
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内		0.0020	0.0024	0.0022	0.0019	0.0019
No.6	五之坪集落農業センター		0.0018	0.0023	0.0022	0.0017	0.0017
No.7	平倉住宅脇		0.0018	0.0022	0.0020	0.0019	0.0019

注) 比較基準は、国が定めた環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）である。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

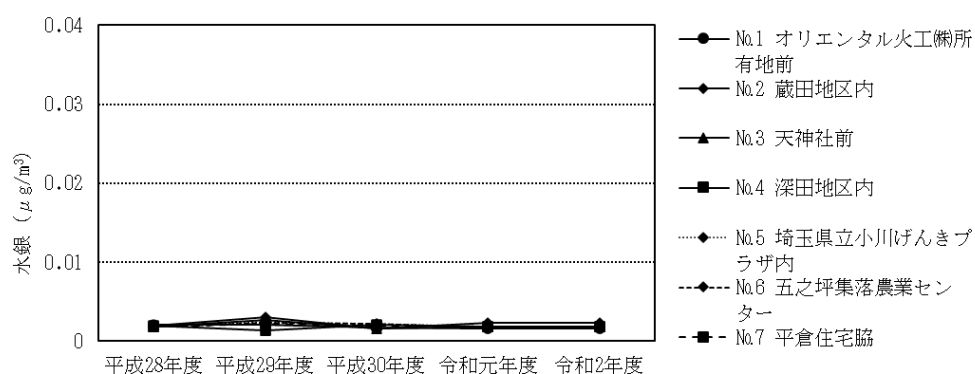


図 3.2-23 水銀の過去5年間の経年変化（平成28年度～令和2年度）

② 苦情の状況

平成 28 年度から令和元年度の 5 年間における関係市町村の苦情件数は、表 3.2-39 に示すとおりである。

令和 2 年度における計画地のある寄居町において、大気汚染に関する公害苦情は 21 件であり、総件数（44 件）の約 48%を占めている。

表 3.2-39 公害苦情件数（令和 2 年度）

単位：件

市町村名	年度	典型七公害							その他	合計
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
寄居町	R 2	21	10	0	4	0	0	9	0	44
	R 1	11	8	0	7	0	0	8	0	34
	H30	15	3	0	9	0	0	6	0	33
	H29	10	3	0	8	0	0	4	0	25
	H28	5	1	0	3	1	0	4	0	14
小川町	R 2	15	2	0	0	0	0	0	19	36
	R 1	6	1	0	0	0	0	0	18	25
	H30	10	0	0	0	0	0	1	30	41
	H29	16	3	0	2	0	0	1	19	41
	H28	12	13	0	6	0	0	0	0	31
深谷市	R 2	8	0	0	1	0	0	2	22	33
	R 1	14	1	0	4	0	0	1	33	53
	H30	13	2	0	5	0	0	2	35	57
	H29	26	3	0	1	0	0	1	24	55
	H28	31	3	0	6	0	0	3	26	69
東秩父村	R 2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	R 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H30	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	H29	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：「深谷市の環境」（深谷市ホームページ）
 寄居町生活環境エコタウン課ヒアリング
 小川町環境農林課ヒアリング
 深谷市環境課ヒアリング
 東秩父村保健衛生課ヒアリング

3) 騒 音

① 騒音の状況

(ア) 自動車交通騒音実態調査における騒音の状況

計画地及びその周辺における令和元年度の自動車交通騒音の調査結果は表 3. 2-40 に、調査地点は図 3. 2-24 に示すとおりである。

自動車交通騒音は、7 地点のうち、5 地点で環境基準を超過している。

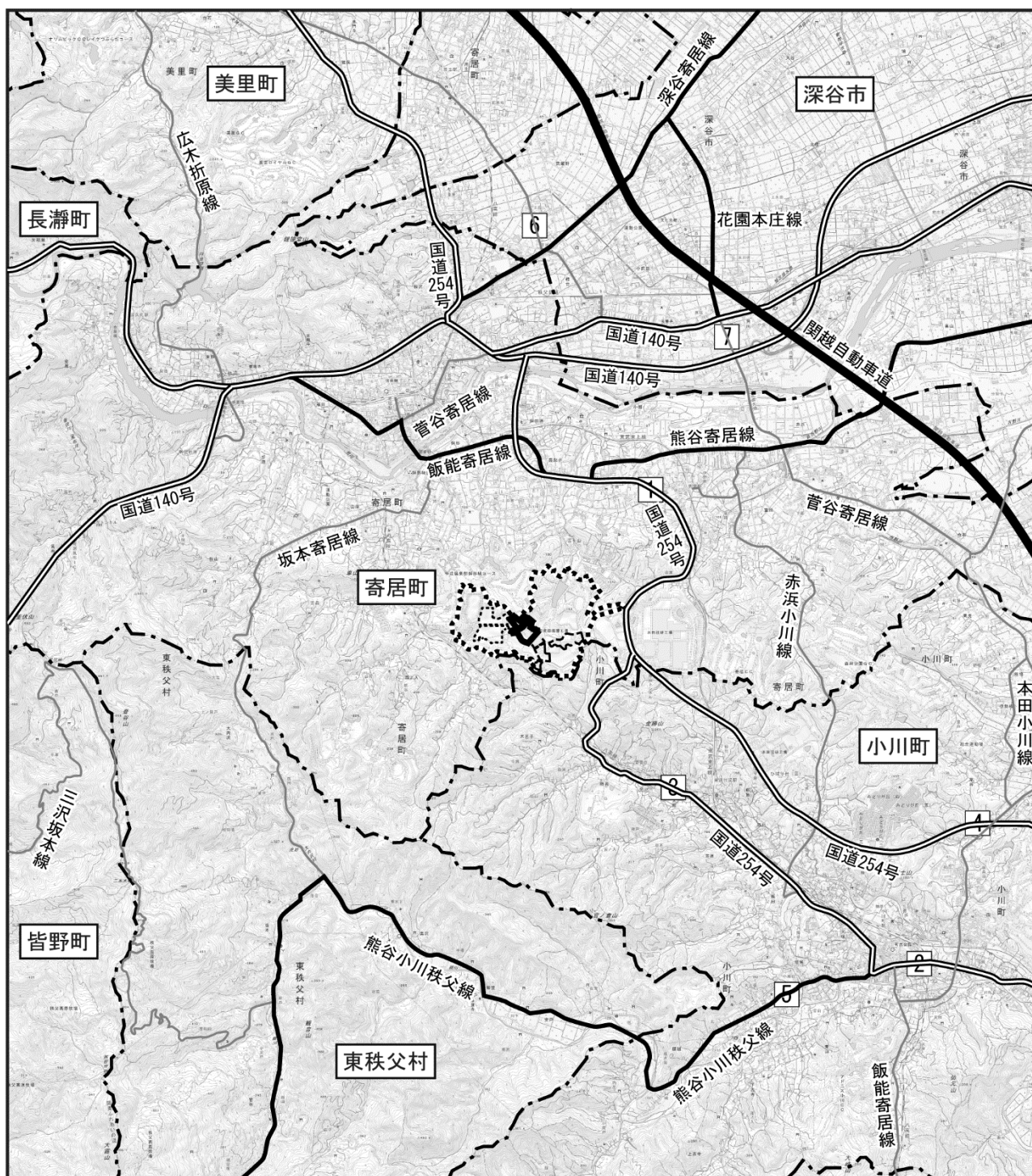
表 3. 2-40 自動車交通騒音の調査結果（令和元年度）

図中番号	路線名	測定地点の住所	環境基準 類型	車線数 合計	等価騒音レベル (dB)				環境基準適合 状況
					昼間	環境基準 達成	夜間	環境基準 達成	
1	一般国道 254 号	寄居町富田 2914	B	2	71	× (70)	69	× (65)	×
2	一般国道 254 号	小川町小川344	B	2	66	○ (70)	60	○ (65)	○
3	一般国道 254 号	小川町勝呂799	B	2	70	○ (70)	67	× (65)	×
4	一般国道 254 号	小川町上横田966	B	2	69	○ (70)	66	× (65)	×
5	県道熊谷小川秩父線	小川町腰越43	C	2	66	○ (70)	61	○ (65)	○
6	県道小前田児玉線	深谷市武蔵野	B	2	70	○ (70)	67	× (65)	×
7	県道菅谷寄居線	深谷市荒川	B	2	70	○ (70)	68	× (65)	×

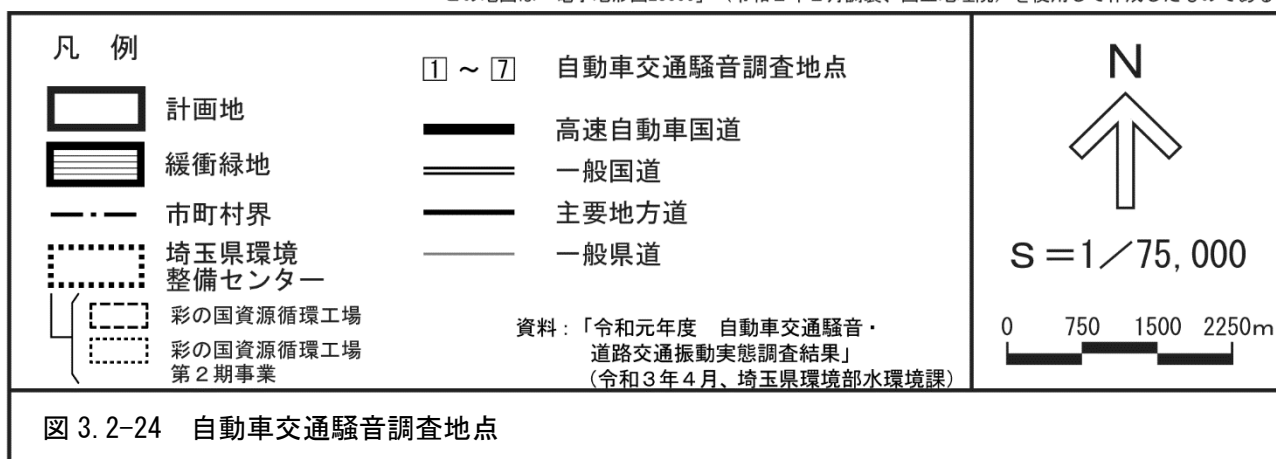
注1) 図中番号は、図3. 2-24の番号と対応する。

注2) 環境基準達成欄の () 内の数値は当該地点における環境基準値を示す。

資料：「令和元年度 自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和3年4月、埼玉県環境部水環境課）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。



(イ) 埼玉県環境整備センター周辺における騒音の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 3.2-41 及び図 3.2-25 に示す埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で騒音の測定を実施している。

また、測定時間帯・方法等は表 3.2-42 に、過去 5 年間の測定期間は表 3.2-43 に示すとおりである。

騒音の測定結果は表 3.2-44 に示すとおり、すべての地点、すべての時間帯において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 3.2-41 騒音の測定場所・住所

図中番号	測定場所	住所
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	寄居町大字三ヶ山 130-3 番地先
No.2	蔵田地区内	寄居町大字富田 4053 番地先
No.3	深田地区内	小川町大字木呂子 184 番地先
No.4	五之坪集落農業センター	寄居町大字西ノ入 2872 番地先

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-42 測定時間帯・方法等

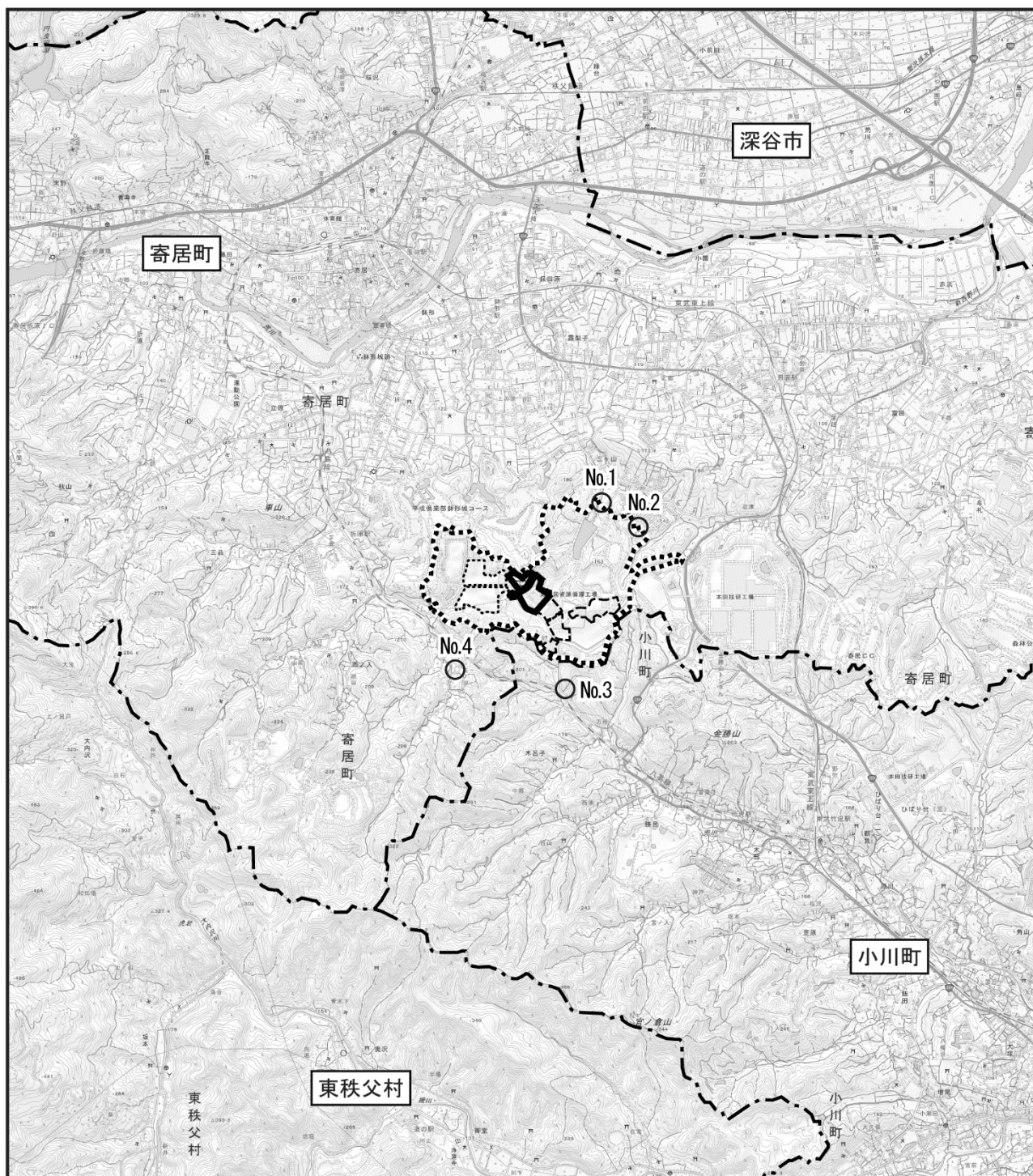
区分	時間帯	測定方法	測定回数
朝	午前 6 時から午前 8 時まで	騒音規制法に基づく測定方法	年 1 回
昼間	午前 8 時から午後 7 時まで		
夕	午後 7 時から午後 10 時まで		
夜間	午後 10 時から翌日午前 6 時まで		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-43 過去 5 年間の測定期間

年度	測定期間
平成 28 年度	平成29年 2 月 23（木）～24 日（金）
平成 29 年度	平成30年 2 月 7 日（水）
平成 30 年度	平成31年 2 月 14 日（木）
令和元年度	令和 2 年 2 月 12 日（水）～13 日（木）
令和 2 年度	令和 3 年 2 月 18 日（木）～19 日（金）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

凡 例



計画地



緩衝緑地



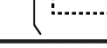
市町村界



埼玉県環境
整備センター



彩の国資源循環工場



彩の国資源循環工場
第2期事業

○ 騒音・振動・悪臭の測定場所（No.1～No.4）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査結果」
（埼玉県環境整備センター）



S = 1 / 50,000

0 500 1000 1500m

図 3.2-25 騒音・振動・悪臭の測定場所

表 3.2-44 騒音の測定結果（平成 28 年度～令和 2 年度）

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	45	39	37	39	37
昼間 (8:00～19:00)		55	40	38	48	38	35
夕 (19:00～22:00)		50	48	36	37	40	35
夜間 (22:00～6:00)		45	40	34	35	36	38

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	41	39	40	41	40
昼間 (8:00～19:00)		55	38	37	41	42	34
夕 (19:00～22:00)		50	47	37	38	39	36
夜間 (22:00～6:00)		45	39	37	37	37	39

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	46	41	40	41	39
昼間 (8:00～19:00)		55	47	43	46	41	37
夕 (19:00～22:00)		50	46	42	41	39	38
夜間 (22:00～6:00)		45	41	40	43	37	37

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	36	36	30 未満	37	32
昼間 (8:00～19:00)		55	47	39	37	34	30
夕 (19:00～22:00)		50	42	30 未満	30	30 未満	30 未満
夜間 (22:00～6:00)		45	42	30 未満	30 未満	30 未満	33

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和 2 年度における騒音に関する公害苦情は 4 件であり、総件数（44 件）の約 9 %を占めている（表 3.2-31 参照）。

4) 振 動

① 振動の状況

(ア) 道路交通振動実態調査における振動の状況

埼玉県では毎年度、県内の市町村が行った道路交通振動調査結果を取りまとめて公表しているが、「令和元年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査」(埼玉県環境部水環境課)によると、計画地及びその周辺において道路交通振動の調査は行われていない。

(イ) 埼玉県環境整備センター周辺における振動の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 3.2-41 及び図 3.2-25 に示した埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で振動の測定を実施している。

また、測定時間帯・方法等は表 3.2-45 に、過去 5 年間の測定期間は表 3.2-46 に示すとおりである。

振動の測定結果は表 3.2-47 に示すとおり、すべての地点、すべての時間帯において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 3.2-45 測定時間帯・方法等

区分	適用時間帯	測定方法	測定回数
昼間	午前 8 時から午後 7 時まで	振動規制法に基づく測定方法	年 1 回
夜間	午後 7 時から午前 8 時まで		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-46 過去 5 年間の測定期間

年度	測定期間
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 23 (木) ～24 日 (金)
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 7 日 (水)
平成 30 年度	平成 31 年 2 月 14 日 (木)
令和元年度	令和 2 年 2 月 12 日 (水) ～13 日 (木)
令和 2 年度	令和 3 年 2 月 18 日 (木) ～19 日 (金)

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-47 振動の測定結果（平成 28 年度～令和 2 年度）

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
昼間（8:00～19:00）	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間（19:00～6:00）		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
昼間（8:00～19:00）	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間（19:00～6:00）		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
昼間（8:00～19:00）	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間（19:00～6:00）		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
昼間（8:00～19:00）	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間（19:00～6:00）		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和 2 年度における振動に関する公害苦情は、総件数 44 件数のうち 0 件である（表 3.2-39 参照）。

5) 悪 臭

① 悪臭の状況

(ア) 埼玉県環境整備センター周辺における悪臭の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 3.2-41 及び図 3.2-25 に示す埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で悪臭の測定を実施している。

また、測定項目・方法等は表 3.2-48 に、過去 5 年間の測定期間は表 3.2-49 に示すとおりである。

悪臭の測定結果は表 3.2-50 及び表 3.2-51(1)～(2)に示すとおり、すべての項目、すべての地点において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 3.2-48 測定項目・方法等

測定項目		単位	測定方法	測定回数
1	アンモニア	ppm	悪臭防止法に基づく測定方法	年 1 回以上
2	メチルメルカプタン			
3	硫化水素			
4	硫化メチル			
5	二硫化メチル			
6	トリメチルアミン			
7	アセトアルデヒド			
8	プロピオンアルデヒド			
9	ノルマルブチルアルデヒド			
10	イソブチルアルデヒド			
11	ノルマルバレールアルデヒド			
12	イソバレールアルデヒド			
13	イソブタノール			
14	酢酸エチル			
15	メチルイソブチルケトン			
16	トルエン			
17	スチレン			
18	キシレン			
19	プロピオン酸			
20	ノルマル酪酸			
21	ノルマル吉草酸			
22	イソ吉草酸			
23	臭気濃度	—		
24	臭気指数	—		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-49 過去5年間の測定期間

年度	測定期間
平成 28 年度	第 1 回：平成 28 年 6 月 27 日（月） 第 2 回：平成 28 年 8 月 16 日（火） 第 3 回：平成 29 年 2 月 7 日（火）
平成 29 年度	第 1 回：平成 29 年 6 月 20 日（火） 第 2 回：平成 29 年 8 月 7 日（月） 第 3 回：平成 30 年 2 月 13 日（火）
平成 30 年度	第 1 回：平成 30 年 6 月 18 日（月） 第 2 回：平成 30 年 8 月 21 日（木） 第 3 回：平成 31 年 2 月 15 日（金）
令和元年度	第 1 回：令和元年 6 月 19 日（水） 第 2 回：令和元年 8 月 5 日（月） 第 3 回：令和 2 年 2 月 12 日（水）
令和 2 年度	第 1 回：令和 2 年 6 月 9 日（火） 第 2 回：令和 2 年 8 月 4 日（火） 第 3 回：令和 3 年 2 月 8 日（月）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-50 悪臭の調査結果（令和２年度）

測定項目		単位	基準値 (運営協定)	No.1　オリエンタル火工機所有地前			No.2　蔵田地区内		
				第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回
1	アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
2	メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3	硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4	硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5	二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6	トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7	アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.003	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002未満
8	プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9	ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10	イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11	ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12	イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13	イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14	酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15	メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16	トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17	スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18	キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19	プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20	ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21	ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22	イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23	臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24	臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

測定項目		単位	基準値 (運営協定)	№.3 深田地区内			№.4 五之坪集落農業センター		
				第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回
1	アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
2	メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3	硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4	硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5	二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6	トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7	アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002	0.002未満	0.002未満	0.003	0.002未満
8	プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9	ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10	イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11	ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12	イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13	イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14	酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15	メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16	トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17	スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18	キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19	プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20	ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21	ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22	イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23	臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24	臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

注) 各年の値が３回分の幅を示している。

資料：「令和２年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-51(1) 悪臭の調査結果 (No.1、No.2：平成 29 年度～令和 2 年度)

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.08	0.05未満～0.07	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満～0.004	0.002未満～0.004	0.002未満	0.002未満～0.003
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.07	0.05未満～0.06	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満～0.003	0.002未満	0.002未満	0.002未満～0.002
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満～23	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満～14	10未満	10未満	10未満	10未満

注) 各年の値が 3 回分の幅を示している。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 3.2-51(2) 悪臭の調査結果 (No.3、No.4：平成 29 年度～令和 2 年度)

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.005未満～0.08	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満～0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満～0.002
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.07	0.05未満～0.09	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満～0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満～0.003
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソヘキシルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

注) 各年の値が 3 回分の幅を示している。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和２年度における悪臭に関する公害苦情は９件であり、総件数（４４件）の約２０％を占めている（表 3.2-39 参照）。